

# 3-2

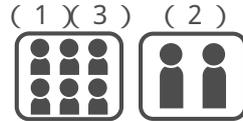
# 何本・いくつ♡



活動

- (1) 助数詞を覚える。  
 (2) 助数詞を覚える。  
 (3) 買いたいものと数量を言う。

かたち



時間

- (1)  
 (2)  
 (3)

## せつめい編

- 文-08 Nをください  
 助-08 を(対象)  
 語-05 数  
 語-06 助数詞

## 談話の技術

## 準備するもの

46ページの絵を大きくしたもの、または、  
 <使うことば>の実物など  
 (<手順>(1)と(3)で使う。)

## 使うことば

いくつ、~枚、~本、~冊、一つ~十、(ペン)(かばん)ハンカチ、シャツ、CD\*、  
 (えんぴつ)かさ、ネクタイ、(テープ)、  
 (本)雑誌、(ノート)コーラ\*、ハンバー  
 ガー\*、りんご\*、ケーキ\*

## 手 順

### (1) 助数詞の練習 A

1. 教師は絵または実物を用意する。
2. 黒板に1から10までの数字を書く  
 か、この数字のカードを用意する。
3. 教師は絵または実物と数字から同時に1つずつ選んで、学習者に見せる。
4. 学習者は絵(実物)と数字を見て、  
 それに合った「数字 + 助数詞」を  
 言う。
5. 教師が絵(実物)と数字の組み合わせ  
 を変えて、上の3と4をくりかえす。

### (2) 助数詞の練習 B

1. ペアを作る。
2. 1人が両手を後ろに回して、指を何  
 本か立てて、「何本ですか。」と聞く。  
 もう1人が立てた指の本数を当  
 てる。

### (3) 文型の練習

1. 教師は黒板に次のページの表を書く。  
 学習者はノートに書く。一番上の段  
 のことばは母語で書くか、絵をかい  
 てもよい。たくさん練習させたいと  
 きは、列を増やす。

2. 学習者は、ノートひょうの表ひょうの「わたし」  
 のところに、それぞれの助数詞じすうしに  
 合った品物あまたは食べ物しなものの名詞たを1  
 つと、数字すうじを1つひと入れる。たとえば、  
 「ハンカチ2」「えんぴつ1」「ノート  
 3」「ケーキ5」のように書く。
3. 学習者は1人ひとりずつ<モデルテキスト>  
 のように「～を～と、～を～と、～  
 を～と、～を～ください。」の文型ぶんけいに  
 入れて、文いを言う。

4. ほかの人は、3きを聞いて、人の名前ひと  
 と品物しなものと数かずを自分のノートじぶんに書く。
5. 黒板こくばんの表ひょうに、文ぶんを言った人ひとが自分の  
 名前なまえと品物しなものと数かずを書くか、ほかの人ひと  
 が書いて、合あっているかどうかかくにん確認  
 する。

	A. うすいもの ～まい	B. 長いもの / テープ ～ほん	C. 本、ノート ～さつ	D. 小さいもの/ みせでかう食べもの ～つ
わたし	ハンカチ2	えんぴつ1	ノート3	ケーキ5

## モデルテキスト

- (3) ハンカチを二にまいと、えんぴつを一本いっぽんと、ノートを三さんさつと、  
 ケーキを五いつつください。

